

第3回（仮称）富里市協働のまちづくり条例検討委員会 会議録

日 時	平成21年3月16日（月）14：00～16：45
場 所	富里市役所本庁舎3階第3会議室
出席委員	久野直衛委員，荒野峰之委員，二上正栄委員，斉藤栄子委員， 大木寿美子委員，前川恵右委員，伊藤友子委員， 草野孝江委員，高澤忠彦委員，渡辺信子委員，石川政江委員， 佐藤征人委員，伊井かつ子委員，森田修仁委員， 小澤和子委員
事務局	企画課企画調整室長，企画課企画調整室員
傍聴者	1名

〔会議次第〕

- 1．開会
- 2．あいさつ
- 3．議題
 - 1 富里市の現状について
～総合計画・市民意識調査などから～
 - 2 ふれあい市民アンケート
「協働のまちづくり」の結果について
- 4．その他
- 5．閉 会

〔 会議概要 〕

事務局	<p>1 富里市の現状について ～ 総合計画・市民意識調査などから～</p> <p>資料 1 により説明（ P . 1 ～ 1 4 ）</p>
A 委員	<p>昭和 4 6 年に策定された総合計画の内容は , 非常にすばらしい言葉が並んでいるが , 具体的に何々をするというものが見ない。世代を超えて富里というまちをどのように作っていくべきかという構想にしていけないとだめじゃないかと思う。</p>
事務局	<p>総合計画の進捗状況などは , 市民の皆様にもわかりやすく説明していかななくてはならないと思う。</p>
B 委員	<p>村から町 , 市になって重点プランの 2 番目に都市形成プランがでていて , 突如 , 市民参加というキーワードに置き換わり , その部分の説明がないので , 理解できない。</p>
事務局	<p>都市形成プランなどの施策は , 基本的に着実に進めるものとし , その視点として , 「 誇りと愛着 」 が非常に大切なことであり , まずその上に , 今の総合計画で協働といった視点が必要だろうということによって変わってきた。</p>
C 委員	<p>表記上 , 西暦を併記するといい。それと , 今回私がこの会議に臨んでいるのは , 市民が参画する仕組みをつくる条例を検討するためで , どのように市民が参画するかできるかが我々にあたえられた課題だと理解している。</p>
D 委員	<p>昭和 4 6 年当時から , まちづくりっていうのが出ているが , これまでなぜ動きがなかったんだろうっていうのがすごく不思議。</p>

事務局	<p>市民参加という考え方はあったが、それを条例という形で、体系化させようというのは、今回が初めて。地方分権が進展して、自分たちの自治体のことは自分たちで決めていくという流れが出て、そのなかで今回条例制定へととなった。</p>
E 委員	<p>私は途中から引越してきたが、人口だけがどんどん増えて、それに行政が追いつかないって部分も多くあったのだろうと感じる。</p>
B 委員	<p>まちづくりというのは前からあった言葉だが、昭和46年とか50年は、行政の文書では、漢字で書かれていた。しかもまちづくりって言葉でも、都市計画のことを言っていた。それが、最近では、ひらがなで「まちづくり」となり、今まさに求められている。市民参加って意味合いになった。</p>
F 委員	<p>条例を検討するにあたっては、行政側の情報が必要。みんなが共有できる情報があれば、住民のやる気も増し、多くの人に参加するようになり、自然と楽しくなるのではないかと感じる。</p> <p>活力ある街富里ってこうだなんて、そう思えようになる。そのためにはどうしたらいいのかなっていうことをみんなでこれから考えていくことが、これからの条例の進め方なんじゃないかなと感じる。</p>
事務局	<p>今まさに協働のまちづくり条例に関しては、どのように市民参加をしてもらうとか、行政の関与や責務をどうしようとか、その辺をどう組み立てていくのか。その辺の条例づくりと推進体制についてご提言を最終的にいただきたいと考えているので、その辺はぜひ活発なご意見をいただければ。</p>
G 委員	<p>今まで地方自治法で決められた総合計画、基本計画、構想、こういうことに基づいてやってこられた。それは議会を通して</p>

	<p>きているわけでしょ。</p>
事務局	<p>基本構想に関しては、議会の議決をいただいている。</p>
F 委員	<p>今まで、これは4回の計画策定があるが、この中で市民から公募という形は、今回が初めてか。</p>
事務局	<p>平成13年の総合計画を例にあげると、まちづくり懇話会という市民がフリーに参加していただくものを開催し、構想案に対する意見をいただくという形式の会議を開催している。さらに、まちの課題を提示してこれに対する意見を募るまちづくりレポートという手法を用いた。</p>
F 委員	<p>募集は、広報で出したのか。</p>
事務局	<p>広報で募集をして、700名から申し込みがあり、100通ぐらいは、返ってきたと思う。</p>
H 委員	<p>この検討委員会に関して、昨日の広報に2月3日にこの委員会が発足したという記事が載っていたが、もう少し詳しく記事を書いたら、関心をもってくれる方もいるんじゃないかなと思うが。</p>
事務局	<p>紙面の都合で限界があるので、区長回覧とかホームページなどを中心としてお知らせをしていきたい。今後、議論が進んでいくので、機会があるごとにお知らせしていきたいと思っている。</p>
C 委員	<p>今後条例の案については、提言としてまとめ、最終的に議会に提案すると思うんです。今後、関谷先生に交通整理してもらいながら、他市町村の事例などの参考資料を事務局で用意してもらおうようにしないと、この回数の会議では間に合わないと思</p>

事務局	<p>っているが。</p> <p>次回，資料等については，お示しできればなと思う。</p> <p>休憩</p>
事務局	<p>資料 1 により説明（P . 1 5 ~ 2 1 ）</p>
I 委員	<p>団塊ジュニアと呼ばれている私どもは，とにかく市に関心が少ないというのが問題だと思う。その意味では，情報の公開は非常に重要だと思う。こうして会議等で提示された資料などから、情報を周りの人たちにどんどん話しをしていきたいと思う。</p>
事務局	<p>公開できる段階の資料については、行政側からも公開していきたいと思う。会議で提示されたもので公開バージョンの資料については，ご活用されたい。</p>
A 委員	<p>資料に条例制定状況があるが，条文がどういう内容なのかを要約してわかるような資料はできるか。</p>
事務局	<p>次回以降に見やすい形で編集して，お示しできればと。ただ，条例の条文というよりも協働の考え方からまず話し合いをしていただくほうがいいと思う。</p>
B 委員	<p>条例自体は，インターネットで簡単に見れるが，問題なのは条例ができるまでの過程で，どういう人たちが市とどう関わって，そしてこういう条例を作ったのか。プロセスが，大事だと思う。</p>
事務局	<p>いずれにいたしましても，みなさまの意見を聞きながら，条例の検討を進めていくことになると思うので，よろしくお</p>

	<p>願います。</p>
事務局	<p>2 ふれあい市民アンケート 「協働のまちづくり」の結果について</p> <p>資料2により説明</p>
I 委員	<p>目を見張る意見があるが、果たしてそれが、どんな方なのか。特に年代を知りたい。若い人の意見が出ているかどうか。</p>
事務局	<p>記名方式なので、年代と性別等分析をかけようと思えば、かけられるが、まだそこまで分析をかけていない。</p>
事務局	<p>以上で閉会とします。</p>